

タスク		2020年度												2021年度以降				
		第1 四半期			第2 四半期			第3 四半期			第4 四半期							
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
マイルストーン	委員会	▼委員会(11/11)(核燃SDP(検討の方向性)※第2四半期検査報告の中で説明)												委員会(予定)(ガイド等見直し)				
	検査制度に関する意見交換会合	▼第1回(8/27)												▼第2回(11/6)	▼第3回(12/22)	▼第4回(2/25)	▼第5回(予定)	▼第6回(予定)
	1. 当面の課題																	
	(1)検査制度を継続的に改善する仕組み a. 改善の仕組み検討													▼仕組みに係る考え方及び今年度の改善計画提示 ▼事業者及び学会※3.(1)と同じからの意見聴取	▼課題と改善案の提示	▼ガイド案の提示(第2段階) ▼ガイド等見直し(第1段階)		
	b. 検査官の意識調査	今年度の改善計画												インプット情報の収集、評価	改善の検討	▼ガイド案の提示(第1段階) ▼調査状況報告	継続的な改善の運用 検査官の意識調査	
	(2)核燃料施設等の重要度評価手法 a. 核燃SDP 再処理、加工・試験研究炉	検討の方向性												▼検討の方向性提示	▼議論	▼議論	▼議論	
	(3)PRAモデルの活用拡大 a.リスク評価の範囲拡大	溢水、地震等の外的事象にかかるリスク評価手法の検討																
	b.レベル1 PRA 適切性確認	大飯3/4、玄海3/4、川内1/2、高浜3/4																
	c.レベル1.5PRA 適切性確認	伊方3、大飯3/4、玄海3/4、川内1/2、高浜3/4ほか												▼伊方1.5の適切性確認結果の報告				
	(4)横断領域 a.保安検査での横断領域指標	▼横断PIの検討結果提示、議論												▼横断PIの評価結果提示				
b.原子力規制検査での横断領域の取扱い	既存の保安検査での横断PIの検討												次年度以降に検討					
(5)執務環境の整備	現状の調査												▼現状報告、議論 ▼現状報告、議論					
(6)検査に係る技術的事項の認識共有 a. 取替炉心の安全性評価における新たな解析コードの活用	方向性の検討												▼方向性提示、議論 ガイド類見直し					
b. プレコンディショニング／オペラビリティ	方向性の検討												▼方向性提示、議論 ▼ガイド等見直し(第1段階) ▼ガイド案の提示					
(7)関係者とのコミュニケーションのあり方													新たな仕組みを次年度以降に検討 ※新たな仕組みへ移行するまで、既存の仕組みで関係者とのコミュニケーションを継続					
2. 定例																		
(1)運用状況の確認	▼検査報告書案に対する事業者意見の聴取口												▼事業者意見の聴取口					
(2)事業者CAP活動状況													▼事業者からCAP活動の状況報告(規制側への要望など)					
3. その他																		
(1)原子力学会WGの状況	▼新検査制度の効果的な実施に関する検討WGからの状況説明※1.(1)aと同じ												継続的なコミュニケーション					